

川口 知佐子先生へ

川口先生、お元気ですか。きと広島の小学校で楽しい授業をされていることと思います。

先生にありがとうの気持ちを伝えたくて、お手紙を書きます。

先生が学校に来てくださったのは、私が5年生の4月のときでした。どんな先生かな？とドキドキしましたが、先生の授業はいつも楽しくて、苦手だった算数が一気に好きになりました。休んだときは、休み時間に教えてくださったことも嬉しかったです。

ある日、とび箱のテストがうまく出来なかった私に、「ひとつの壁を越えたら、楠田さんならできるといいますよ」と后かましてくださいました。とび箱だけでなく、先生のその言葉に、私は何度も何度も目かけられました。先生は、私に自分を信じる力の大切さを教めてくださいました。今も私の心に、先生の言葉があります。

そして、修学旅行で広島に行ったとき、サプライズで私たちに会いに来てくださいましたね。



ビックリして嬉しくて泣いた私を抱きしめてくださったことは、私の宝物です。

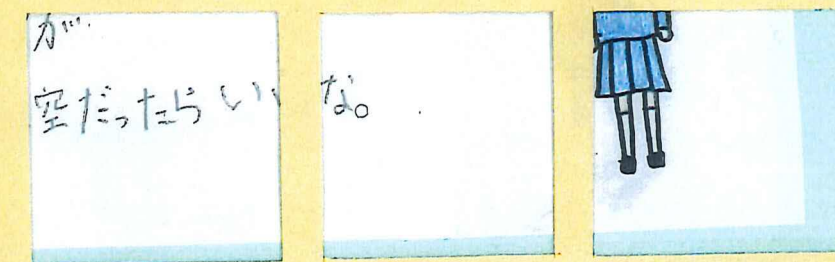
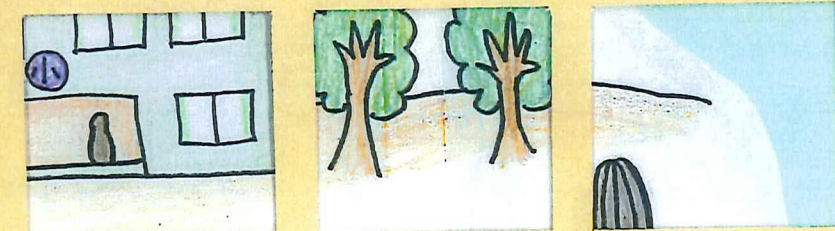
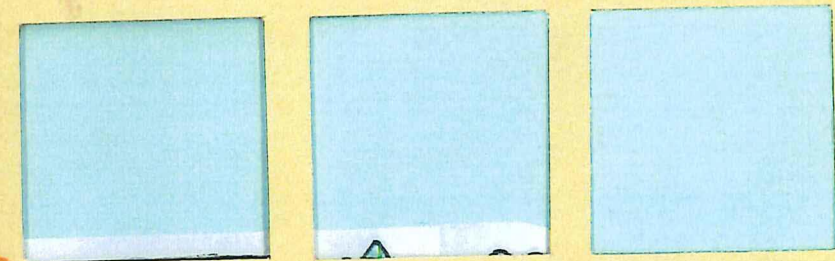
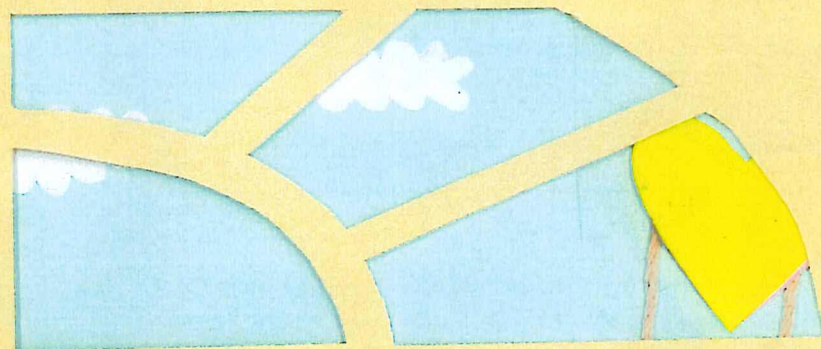
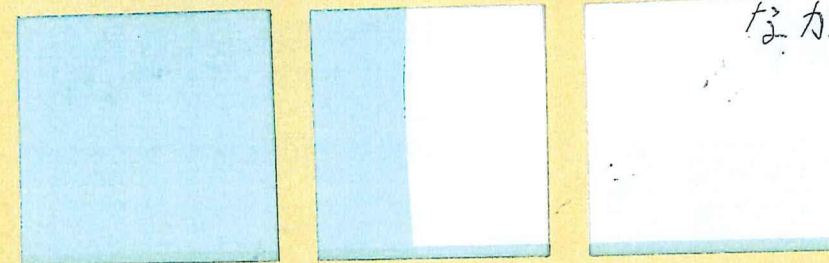
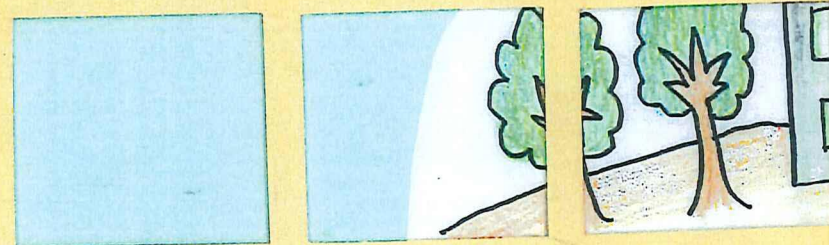
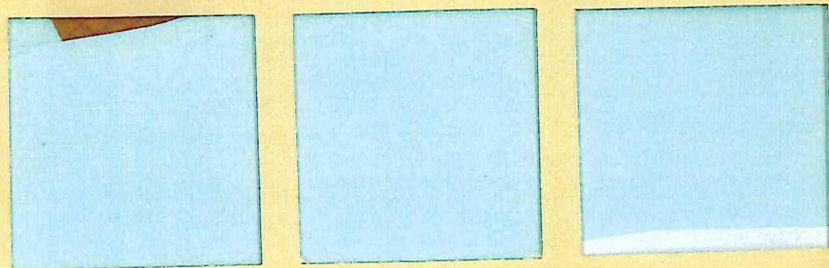
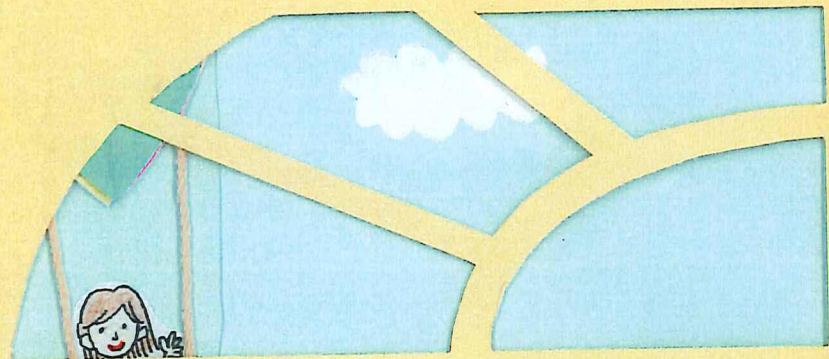
でも、私は後悔しています。せっかく先生にお会いできたのに、きちんとありがとうを伝えられなかったからです。先生と過ごすことのできた1年、先生に伝えたいありがとうは、挙げだしたらきりがありません。だから、たくさん伝えたいです。

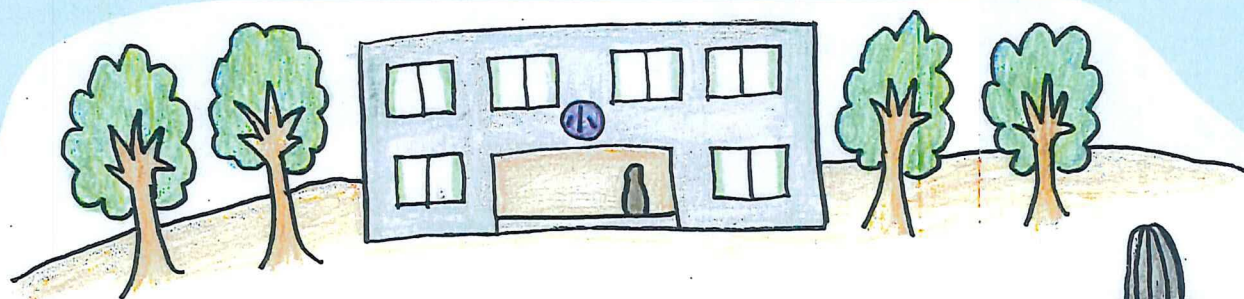
先生、心からありがとうございます。

あれから私は、とび箱で開脚とびだけでなく、開脚とびもとべるようになりました。そして、一番の得意科目は算数で、将来は理系の道に進む夢ができました。今、受験勉強を頑張っています。いつかまた先生にお会いできたら、直接ありがとうを伝えて、色々なお話をしたいです。

いっぱいのありがとうの気持ちをこめて。

京都女子大学付属小学校6年 楠田 佳蓮





なかめた空か...

こんな空だったらいいな。